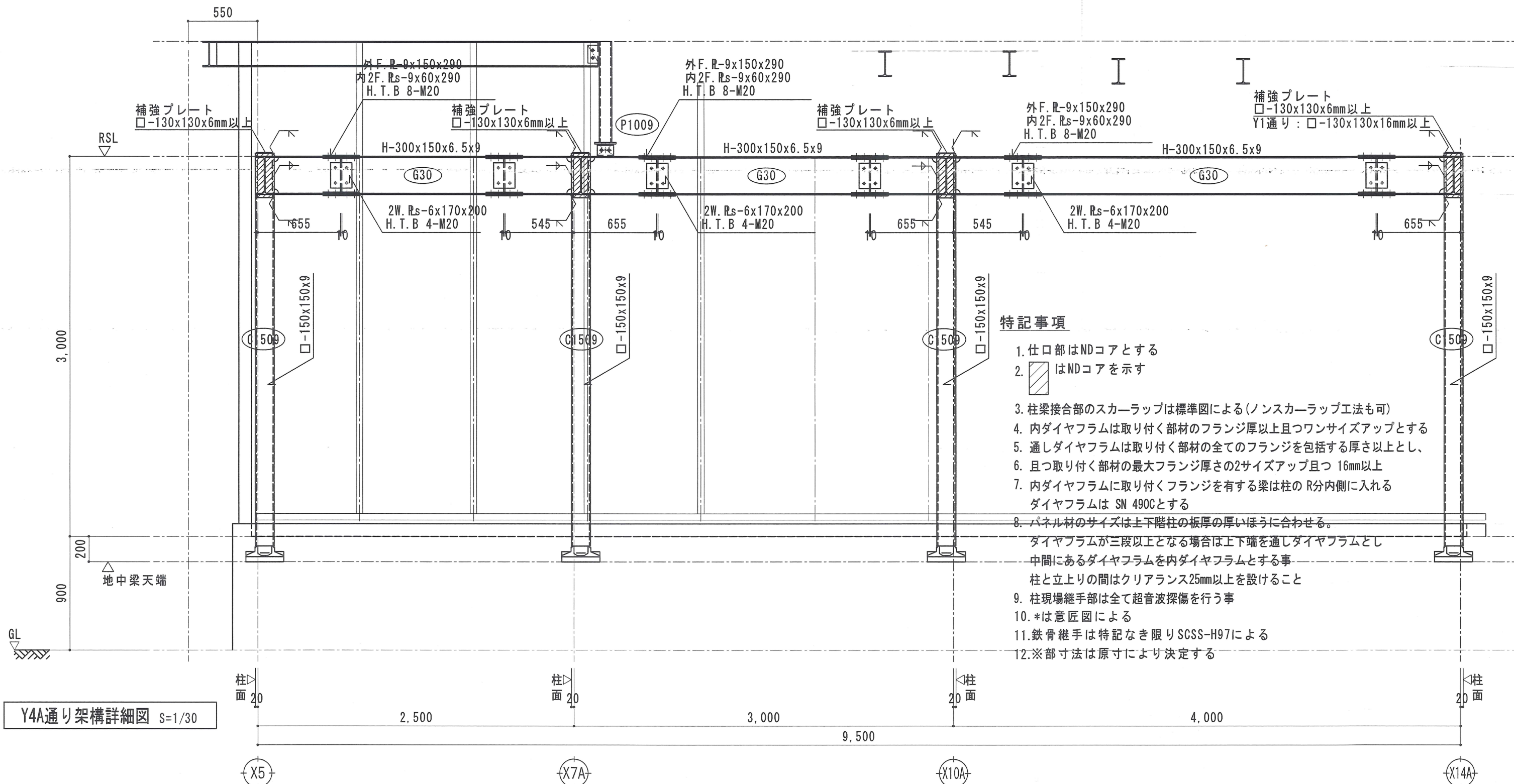


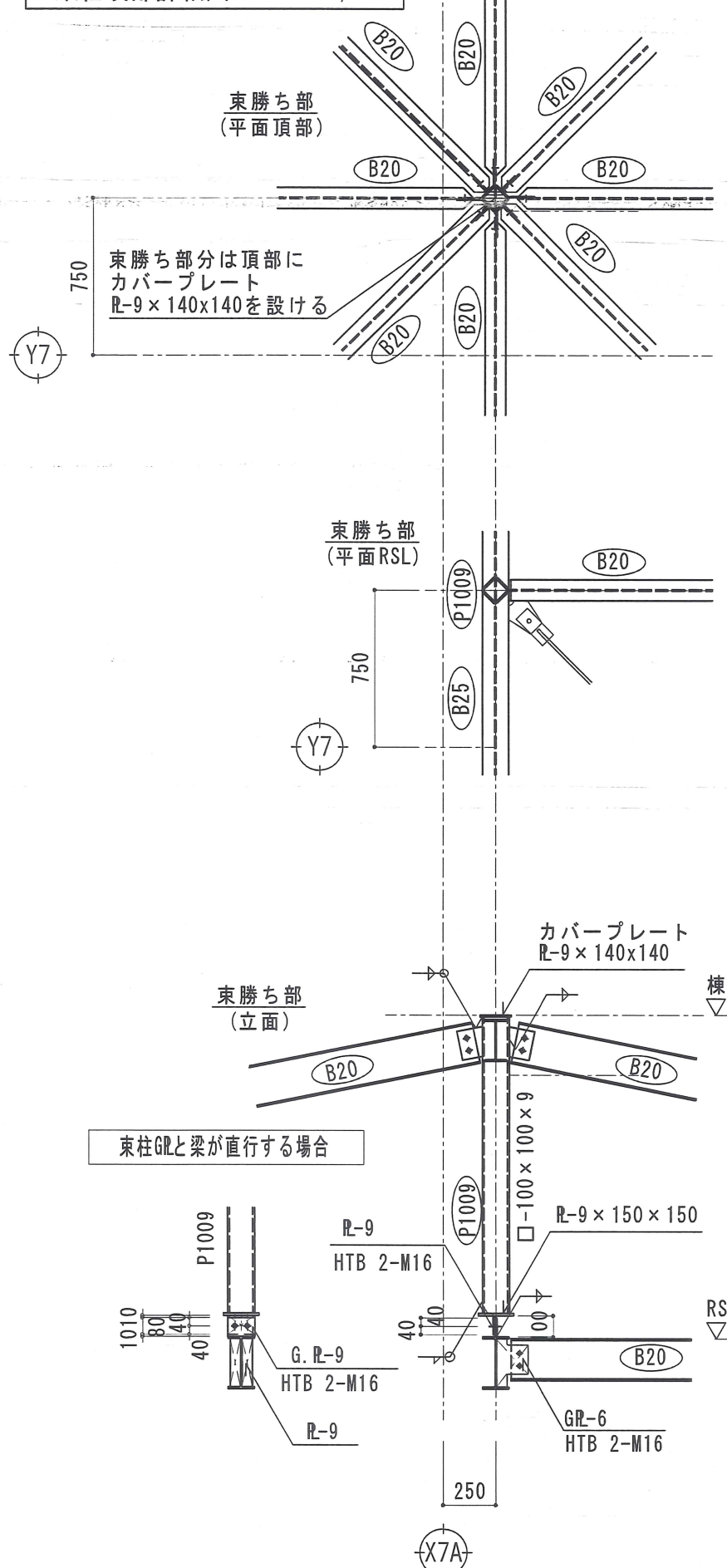


Y4A通り架構詳細図 S=1/30

特記事項

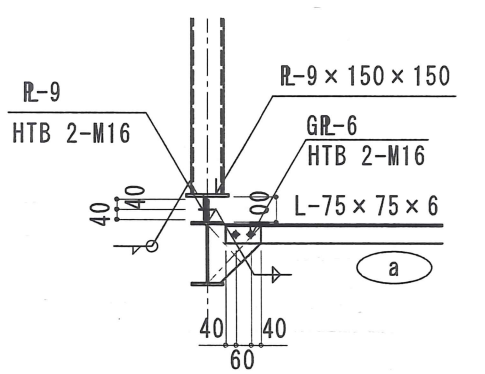
- 仕口部はNDコアとする
- はNDコアを示す
- 柱梁接合部のスカーラップは標準図による(ノンスカーラップ工法も可)
- 内ダイヤフラムは取り付く部材のフランジ厚以上且つワンサイズアップとする
- 通しダイヤフラムは取り付く部材の全てのフランジを包括する厚さ以上とし、
- 且つ取り付く部材の最大フランジ厚さの2サイズアップ且つ 16mm以上
- 内ダイヤフラムに取り付くフランジを有する梁は柱の R分内側に入れる
ダイヤフラムは SN 490Cとする
- パネル材のサイズは上下階柱の板厚の厚いほうに合わせる。
ダイヤフラムが三段以上となる場合は上下端を通しダイヤフラムとし
中間にあるダイヤフラムを内ダイヤフラムとする事
柱と立上りの間はクリアランス25mm以上を設けること
- 柱現場継手部は全て超音波探傷を行う事
- *は意匠図による
- 鉄骨継手は特記なき限りSCSS-H97による
- ※部寸法は原寸により決定する

束柱頂部詳細図 S=1/30



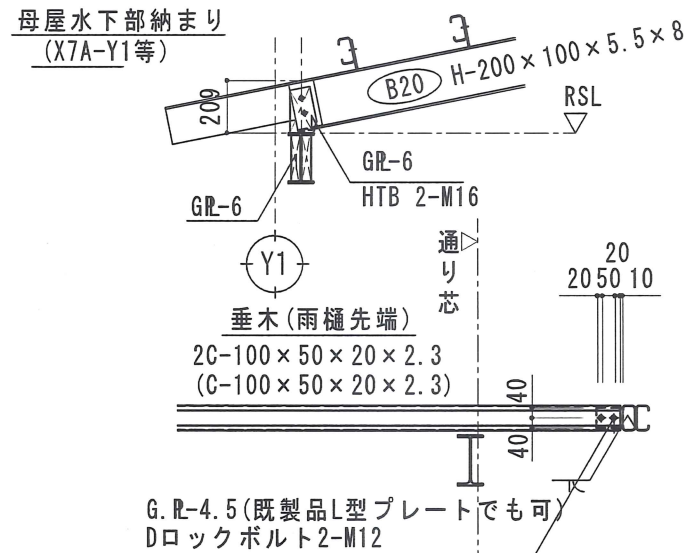
束柱頂部と梁が直行する場合

火打ち梁納まり図 S=1/30

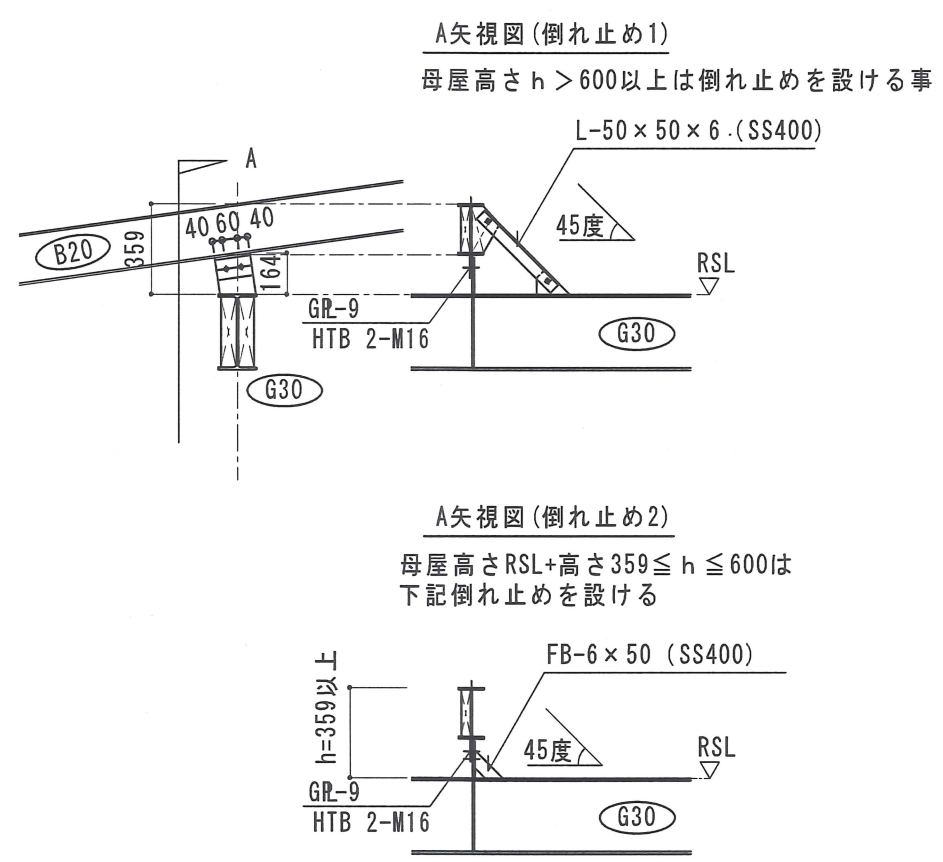


母屋・垂木受け小梁詳細図 S=1/30

※部寸法は原寸により決定する
※部寸法が150を超える場合はR-9とする



母屋倒れ止め補強 S=1/30



母屋・垂木詳細図 S=1/30

